



# 平成22年12月期 第1四半期決算短信

平成22年5月7日

上場取引所 東

上場会社名 静岡瓦斯株式会社

コード番号 9543 URL <http://www.shizuokagas.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 岩崎 清悟

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートサービス部 (氏名) 森田 将信  
 経理担当マネジャー

TEL 054-284-7990

四半期報告書提出予定日 平成22年5月14日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年12月期第1四半期の連結業績(平成22年1月1日～平成22年3月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年12月期第1四半期	29,867	△2.9	2,611	△65.0	2,588	△64.9	1,432	△59.8
21年12月期第1四半期	30,768	—	7,453	—	7,378	—	3,567	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年12月期第1四半期	18.81	—
21年12月期第1四半期	47.71	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年12月期第1四半期	114,627	53,746	40.4	608.46
21年12月期	114,092	52,206	39.4	590.64

(参考) 自己資本 22年12月期第1四半期 46,329百万円 21年12月期 44,972百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年12月期	—	4.00	—	4.00	8.00
22年12月期	—	—	—	—	—
22年12月期 (予想)	—	4.00	—	4.00	8.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年12月期の連結業績予想(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期	59,420	6.4	3,150	△79.8	3,150	△79.8	2,050	△76.4	26.92
連結累計期間	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	121,030	21.9	4,880	△59.9	4,820	△60.3	3,160	△51.0	41.50

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

〔(注) 詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

〔(注) 詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年12月期第1四半期 76,192,950株 21年12月期 76,192,950株

② 期末自己株式数 22年12月期第1四半期 50,296株 21年12月期 50,296株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年12月期第1四半期 76,142,654株 21年12月期第1四半期 74,764,083株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、最近の業績の動向等を踏まえ、平成22年2月9日公表の決算短信に記載した平成22年12月期(平成22年1月1日～平成22年12月31日)の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、5ページ【定性的情報・財務諸表等】3.連結業績予想に関する定性的情報をご参照ください。

2. 当社の四半期連結財務諸表に記載される科目その他の事項の金額は、従来、千円単位で記載しておりましたが、当第1四半期連結会計期間から百万円単位で記載することに變更いたしました。

なお、比較を容易にするため、前連結会計年度及び前第1四半期連結累計期間についても百万円単位に組替え表示しております。

## (参考) 個別業績予想

平成22年12月期の個別業績予想(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期累計期間	52,890	8.9	760	△91.0	860	△89.8	910	△83.7	11.95
通 期	109,060	27.4	1,910	△46.6	1,890	△47.8	1,740	△30.6	22.85

(注) 個別業績予想数値の当四半期における修正の有無: 有

## 【定性的情報・財務諸表等】

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期(平成22年1月～3月)は、県外への広域卸売りの開始等によりガス販売量は大幅に増加したものの、原料費調整制度により前年同期に比べガスの販売単価が低めに推移したことなどから、ガス売上高は前年同期に比べ13億円減の248億円となり、LPG・その他エネルギー売上高及びその他売上高を加えた連結売上高全体では同9億円減の298億円となりました。また、上記販売単価低下の影響により、営業利益は同48億円減の26億円、経常利益は同47億円減の25億円、四半期純利益は同21億円減の14億円となりました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

(資産・負債及び純資産の状況)

当第1四半期末における総資産は、第3号LNG貯槽の稼動開始に伴い原料在庫金額が増加(現金及び預金は減少)したことや、販売量の増加に伴い売掛金が増加したことなどにより、平成21年12月期末と比べ5億円増の1,146億円となりました。

負債は、上記運転資金の増加等により借入金は増加しましたが、LNG価格の低下による買掛金の減少等により10億円減の608億円となりました。

純資産は、四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことなどから15億円増の537億円となり、自己資本比率は40.4%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、平成21年12月期末に比べ36億円減の13億円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

減価償却前利益は57億円となりましたが、ガス販売量の増加に伴い売上債権が増加したこと、第3号LNG貯槽の稼動開始によりたな卸資産が増加したこと、原料代金決済のタイミングにより仕入債務が減少したこと、また、法人税等の支払額が32億円となったことなどにより、営業活動によるキャッシュ・フローは△52億円となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

袖師基地第3期拡張工事やガス導管網の拡張・整備等の設備投資を行ったことなどにより、投資活動によるキャッシュ・フローは△38億円となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

既往の長期借入金の返済が進む一方で、新規設備資金や運転資金を調達したことなどにより、財務活動によるキャッシュ・フローは53億円となりました。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期の連結業績予想については、足元の状況を踏まえ第2四半期以降の原油価格・為替レートの想定を見直した上で、第1四半期の実績と合せ前回予想を修正し、売上高は4億円減の594億円、営業利益及び経常利益は6億円増の31億円、当期純利益は3億円増の20億円となる見込みです。

なお、通期の業績予想については、前回予想から修正はありません。

(参考) 原油価格・為替レートの想定

原油価格 (全日本CIF)	前回想定	80ドル/bbl (第2～4四半期)
	今回想定	83ドル/bbl (第2～4四半期)
為替レート	前回想定	95円/ドル (第2～4四半期)
	今回想定	93円/ドル (第2～4四半期)

### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### ① 簡便な会計処理

(イ) 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

(ロ) たな卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、前連結会計年度末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

(ハ) 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

#### ② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益(累計期間)に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

完成工事高及び完成工事原価の計上基準の変更

請負工事に係る収益の計上基準については、従来、主として工事完成基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」(企業会計基準第15号 平成19年12月27日)及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日)を当第1四半期連結会計期間から適用し、当第1四半期連結会計期間に着手した工事契約から、成果の確実性が認められる工事については工事進行基準を、その他の工事については工事完成基準を適用しております。

この変更による損益への影響はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
<b>資産の部</b>		
固定資産		
有形固定資産		
製造設備	33,202	20,420
供給設備	34,976	35,811
業務設備	3,997	4,057
その他の設備	5,299	5,299
建設仮勘定	2,156	14,316
有形固定資産合計	79,631	79,905
無形固定資産	1,628	1,598
投資その他の資産		
投資有価証券	8,011	7,658
長期貸付金	3,318	2,472
繰延税金資産	1,495	1,623
その他投資	873	839
貸倒引当金	△301	△297
投資その他の資産合計	13,397	12,296
固定資産合計	94,657	93,800
流動資産		
現金及び預金	1,423	5,075
受取手形及び売掛金	9,111	6,898
商品及び製品	317	319
原材料及び貯蔵品	5,650	4,286
繰延税金資産	1,681	1,666
その他流動資産	1,843	2,098
貸倒引当金	△58	△53
流動資産合計	19,970	20,292
資産合計	114,627	114,092

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
<b>負債の部</b>		
固定負債		
長期借入金	33,981	32,392
繰延税金負債	43	33
退職給付引当金	3,078	3,045
ガスホルダー修繕引当金	213	206
負ののれん	901	960
その他固定負債	707	791
固定負債合計	38,925	37,429
流動負債		
1年以内に期限到来の固定負債	5,570	6,050
買掛金	7,321	9,715
短期借入金	4,646	41
未払金	914	2,342
未払法人税等	1,238	3,656
賞与引当金	1,014	445
その他流動負債	1,250	2,205
流動負債合計	21,955	24,457
負債合計	60,881	61,886
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,279	6,279
資本剰余金	4,589	4,589
利益剰余金	33,228	32,100
自己株式	△25	△25
株主資本合計	44,071	42,943
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,254	2,025
繰延ヘッジ損益	3	4
評価・換算差額等合計	2,258	2,029
少数株主持分	7,416	7,233
純資産合計	53,746	52,206
負債純資産合計	114,627	114,092



(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年3月31日)
売上高	30,768	29,867
売上原価	17,509	21,348
売上総利益	13,258	8,519
供給販売費及び一般管理費	5,804	5,908
営業利益	7,453	2,611
営業外収益		
受取利息	15	15
受取配当金	2	1
負ののれん償却額	49	62
雑収入	68	66
営業外収益合計	136	145
営業外費用		
支払利息	206	165
雑支出	4	3
営業外費用合計	210	169
経常利益	7,378	2,588
特別利益		
ガス熱量変更引当金取崩し	28	—
特別利益合計	28	—
特別損失		
固定資産売却損	—	2
特別損失合計	—	2
税金等調整前四半期純利益	7,407	2,585
法人税等	2,639	951
少数株主利益	1,200	200
四半期純利益	3,567	1,432

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	7,407	2,585
減価償却費	2,766	3,163
長期前払費用償却額	0	—
繰延資産償却額	23	—
負ののれん償却額	△49	△62
有形固定資産除却損	9	12
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	19	9
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	47	33
ガスホルダー修繕引当金の増減額 (△は減少)	8	7
賞与引当金の増減額 (△は減少)	567	569
ガス熱量変更引当金の増減額 (△は減少)	△28	—
受取利息及び受取配当金	△17	△16
支払利息	206	165
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	2
売上債権の増減額 (△は増加)	151	△2,218
たな卸資産の増減額 (△は増加)	5,188	△1,361
仕入債務の増減額 (△は減少)	△6,625	△2,378
未払又は未収消費税等の増減額	703	△1,330
その他	△3,283	△1,021
小計	7,094	△1,839
利息及び配当金の受取額	18	16
利息の支払額	△260	△208
法人税等の支払額	△537	△3,204
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,315	△5,236
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△16	△19
定期預金の払戻による収入	16	22
有形及び無形固定資産の取得による支出	△5,466	△3,489
有形及び無形固定資産の売却による収入	2	2
投資有価証券の取得による支出	△334	△1
貸付けによる支出	—	△900
貸付金の回収による収入	53	54
工事負担金等受入による収入	133	79
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	628	—
その他	△42	443
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,026	△3,807

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△501	4,604
長期借入れによる収入	2,900	3,150
長期借入金の返済による支出	△2,594	△2,041
配当金の支払額	△223	△304
少数株主への配当金の支払額	△10	△13
その他	△0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△429	5,394
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	859	△3,648
現金及び現金同等物の期首残高	698	5,046
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,558	1,398

- (4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間(自 平成21年1月1日 至 平成21年3月31日)

(単位:百万円)

	ガス	LPG・その他エネルギー	その他	計	消去又は全社	連結
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	26,090	2,864	1,813	30,768	—	30,768
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	125	80	1,217	1,423	(1,423)	—
計	26,216	2,944	3,030	32,191	(1,423)	30,768
営業利益又は営業損失(△)	7,729	497	△62	8,163	(710)	7,453

当第1四半期連結累計期間(自 平成22年1月1日 至 平成22年3月31日)

(単位:百万円)

	ガス	LPG・その他エネルギー	その他	計	消去又は全社	連結
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	24,664	3,144	2,058	29,867	—	29,867
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	191	96	1,278	1,566	(1,566)	—
計	24,855	3,241	3,337	31,434	(1,566)	29,867
営業利益	2,891	384	24	3,300	(689)	2,611

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

## 6. その他の情報

(1) 四半期個別経営成績等の概況 (平成22年1月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年12月期第1四半期	26,265	△2.6	1,207	△23.9	1,320	△19.4	890	△18.5
21年12月期第1四半期	26,962	—	1,587	—	1,637	—	1,092	—

	総資産	純資産
	百万円	百万円
22年12月期第1四半期	93,129	28,873
21年12月期	90,505	28,082

四半期個別財務諸表は法定開示におけるレビューの対象となりません。四半期個別財務諸表は四半期財務諸表等規則に基づいて作成しております。

(2) ガス販売量 (個別)

		当第1四半期 (22/1～22/3)	前年同四半期 (21/1～21/3)	増減	増減率(%)	
需要家件数		戸	316,816	316,598	218	0.1
ガス 販 売 量	家庭用	千m <sup>3</sup>	30,695	30,191	504	1.7
	商業用	〃	8,244	8,043	201	2.5
	工業用	〃	169,508	145,586	23,921	16.4
	その他用	〃	9,834	9,454	381	4.0
	卸売	〃	111,847	45,096	66,752	148.0
合計		〃	330,129	238,370	91,759	38.5
大口販売量		〃	167,623	145,349	22,274	15.3

(注) 1 「期末需要家戸数」は、期末取付メーター数を記載しております。

2 「期末需要家戸数」には、卸売先の需要家数は含みません。

3 販売量は1m<sup>3</sup>当たり45MJ換算し、表示単位未満を四捨五入して表示しております。